

たまな市議会だより

題字：吉田花菜さん
(有明中学校1年)

- 市民会館建設について質問相次ぐ
- パスポート申請・交付手続始まる

☆ホームページのアクセスは、検索画面で を入力してクリック!



2011
10/15
NO.24

■築44年経った玉名市民会館大ホール



玉名市議会だより

発行日／平成23年10月15日発行
編集／議会報編集特別委員会

発行／玉名市議会

「玉名市議会だより24号」の印刷部数は25700部。経費は1部24円
0968・75・1155

環境スクールボランティアの活動を通して見た新幹線開通



玉陵中学校
環境スクールボランティア

荒木あけみ

現在、新玉名駅前の玉陵中花壇は、地域のスクールボランティアと玉陵中の中学生、先生方との協力で夏の猛暑を越えた花々が最後の盛りを迎えています。



東日本大震災に思う



横島校区区長会長

富田 剛

3月11日の大震災から半年、国内のボランティアはもちろん諸外国の支援のもと復旧が進んでおりますが、福島原発の放射能汚染も加わり、被害住民が元の生活に戻る日はいつか。

市民の声

安心して暮らせる「まちづくり」を願う



高道校区区長会長

植野 茂則

市議会議員の皆様には行政と市民とのパイプ役として、御尽力いただいております。3月に開通し、玉名市に明るい未来が誕生し、市民に勇気と活力を与えてくれました。

スポーツ大会を通して思うこと



天水校区小天東支館長

上森 聖紀

天水3支館事業としては、スポーツイベントの開催、6月町民体育祭、7月ペタンク大会、8月ビーチボール、ソフボール大会の実施、これはスポーツの愛好と体力づく

編集後記

あれから半年。東日本大震災と福島原発事故は被災地を初め全国の国民生活に大きな打撃を与え、日本の経済・政治・社会のあり方が根本から問われる状況になった。

政局も混乱をきわめ、地域住民の利益を守るには地方と国の政治をどう転換すべきか、今私たち地方議員も真剣に議論する時に来ている。

本市も、旧1市3町による合併から早いもので6年。新玉名市としての一体的なまちづくりと行財政の基盤強化へ大変重要な時期でもあるが、震災から得たさまざまな教訓をひもといてみると、「自助、共助、公助」のバランスのとれた地域社会づくりが、いま一番に求められているのではないかと感じている。

「市議会だより」を御覧いただき誠にありがとうございます。今後も正確で、読みやすい議会報となるよう努力してまいります。

議会報編集特別委員

蔵原 隆浩

9月定例会

平成23年度第4回定例会が9月2日から9月20日の会期で開催された。その中で、23年度一般会計・特別会計・企業会計の補正予算の審議、条例の制定及び各人事案件などを慎重に審議し、それぞれ可決。また、専決処分事項についても慎重に審議し承認した。

9月定例会

9月定例議会では、補正予算関連8件（うち専決処分2件）、条例関係4件（うち専決処分2件）、人事案件5件、その他5件（うち議員提出2件）が上程され、あわせて専決処分の報告を含む3件の報告が行なわれた。また、平成22年度決算12件については、本議会開会日に設置された決算特別委員会へ付託された。（10月24日・10月26日・決算特別委員会開催）

一般会計補正においては、歳入・歳出それぞれ7億7千607万7千円を追加し、予算総額を285億6千486万1千円とした。

主なものは、歳入では繰越金6億6千744万5千円。農山漁村活性化プロジェクト支援交付金6千430万円。歳出においては、農林水産業費9千863万6千円。6～7月の大雨による災害復旧費5千499万2千円など、それぞれが慎重に審議され可決。

一般質問では14名の議員が登壇し、玉名市民会館の建てかえについての質問が相次ぐ中、活発に議論が交わされた。

人事

行政委員会の各委員の任命・選任について、同意しました。

（敬称略）

☆教育委員会委員

今村 昌司

☆公平委員会委員

林田 優子

☆固定資産評価審査

委員会委員

田上 数彦
村上留美子
畠本志保子

請願・陳情
審議結果

件名	所管委員会	委員会結果	本会議最終結果
陳第3号	郵政改革法案の早期成立を求める意見書の提出に関する陳情	採択 (全員一致)	採択 (全会一致)
請第1号	建設に働く仲間と地域経済を救うルールづくりに関する請願	採択 (全員一致)	採択 (全会一致)

※次の意見書（案）を可決し、関係機関に送付しました。

◎郵政改革法案の早期成立を求める意見書

議長・議員スケジュール

6月

7月

8月

一般会計 歳入歳出 7億7,607万7千円を追加

国庫支出金 1,654万3千円	県支出金 7,062万5千円	繰入金 6億6,744万5千円
財産収入 573万3千円	市債 1,090万円	分担及び負担金・諸収入 483万1千円

平成23年度一般会計補正予算・歳入歳出総額 285億6,486万1千円

総務費 5億1,249万1千円 ●財政調整基金積立金 ●コミュニティ助成事業補助金 ●パスポート申請交付事業	教育費 622万2千円 ●理科支援員配置事業 ●有明中学校第1体育館解体及び武道場建設実施設計業務委託	衛生費 4,635万8千円 ●フツ素除去装置設置補助金 ●償還金(子宮頸がん等ワクチン接種事業県補助金)
民生費 780万1千円 ●病児、病後児保育事業委託	農林水産業費 9,863万6千円 ●農業機械等整備事業補助金 ●市土地改良事業補助金	災害復旧費 5,499万2千円 ●農林水産施設(8件) 公共土木施設(34件) 文教施設(1件)
商工費 85万7千円 ●観光行事等補助金(節頭補助)	土木費 956万1千円 ●蛇ヶ谷公園サクラ再生業務委託	消防費 3,915万9千円 ●市町村総合事務組合負担金

1日

議会運営委員会

平成23年度玉名地区防犯協会連合会理事会・総会

玉名市体育協会評議員会

2日

第86回九州市議会議長会定期総会（北九州市）

9州市議会議長会第1回理事会（北九州市）

滑石小学校特別教室棟建築工事安全祈願祭

5日

第38回玉名市民薄暮野球大会

7日

新幹線・玉名バイパス特別委員会

9日

第34回荒尾・玉名地区人権・同和教育研究集会

10日

6月定例会 開会

市議会全員協議会

11日

「たがの里」「きらめき」新園舎落成式

12日

第38回西居旗少年柔道大会

13日

議会報編集特別委員会

14日

九州市議会議長会第2回理事会（東京）

全国温泉所在都市議会議長協議会 第40回総会（東京）

第246回熊本県市議会議長会（東京）

15日

全国市議会議長会第87回定期総会（東京）

20日

6月定例会 一般質問

20日

市議会全員協議会

22日

議会報編集特別委員会

23日

常任委員会（総務・建設）

平成23年第3回財団法人大麻文化会館理事・評議員・監事合同会議常任委員会

玉名商工会議所 平成23年度通常議員総会懇親会

24日

常任委員会（文教厚生・産業経済）

玉名農業協同組合 第18回通常総代会

29日

6月定例会 閉会

31日

玉名市土地改良区第5回臨時総代会

8月

8日

玉名町老人クラブ連合会平成23年度合同慰霊祭

12日

議会報編集特別委員会

14日

城北ブロック消防広域化協議会設立総会（山鹿市）

19日

玉名市鍋松原海水浴場海開き安全祈願祭

20日

平成23年度玉名駅前パトロールセンター運営協議会総会

22日

国道3号植木バイパス建設促進期成会 平成23年度総会（熊本市）

23日

有明海沿岸道路建設促進熊本県期成会 平成23年度総会（熊本市）

24日

有明海沿岸道路、熊本環状道路（熊本市）

25日

合同意見交換会（国道3号植木バイパス、有明海沿岸道路、熊本環状道路）（熊本市）

26日

平成23年度玉名横島地区国営海岸保全事業推進協議会総会

27日

九州電力玉名支店 来庁対応

28日

県道玉名立花線等道路開発期成会 監査

29日

平成23年度熊本県地域福祉トップセミナー（熊本市）

30日

新庁舎特別委員会

31日

議会運営委員会

パスポートの申請・交付、10月から市役所本庁舎でスタート

文教厚生委員会
委員長：内田靖信

付託された案件は、補正予算2件、権利の放棄1件。1・議第83号一般会計補正予算関係。①総務費関連：これまで玉名地域振興局で取り扱っていたパスポートの申請・交付が10月3日から市役所本庁舎で可能になることに伴う追加補正。今後は地域振興局での取扱いが終了し、県庁での申請交付は緊急を要する場合などに限定される。玉名市で申請した場合、交付までに要する期間は11日間。②民生費関連：病児・病後児保育事業に係る玉名中央病院への運営委託料などによる追加補正。③衛生費関連：横島干拓新米区飲料組合へのフッ素除去装置設置補助金及び子宮頸がんワクチン予防接種費用の償還金などによる追加補正。④教育費関連：有明中体育館解体及び武道場建設設計委託などによる追加補正。その他、6月の豪雨により被害を受けた永安寺西古墳の災害復旧

関連予算など。

2・議第84号国保特別会計補正予算関係：一般会計の繰入金により職員の育児休業に伴い臨時職員を任用することによる追加補正。

3・議第92号「権利の放棄について」。昭和48年度玉名市住宅改修資金貸付条例に基づき住宅改修資金として貸し付けた56万円のうち、回収の見込みがない昭和59年度以降の償還分26万1千492円の貸付債権を放棄するもの。債務者本人が体調を崩して入院を繰り返し、返済能力がないと認められること。また保証人も死亡していることから、債権の回収見込みがないこと、などが放棄の理由。執行部から、今後同様な事案をなくすため、各地の先進事例の調査研究、顧問弁護士とも協議を重ね債務管理に鋭意努力していきたいとの答弁があった。以上3議案とも全員一致で可決すべきと決した。

体育指導委員からスポーツ推進委員へ条例改正

総務委員会
委員長：北本節代

付託された案件は、議案8件、陳情1件、継続の請願1件の合計10件。主な内容は、専決第13号玉名市税条例等の一部を改正する条例の制定で、地方交付税の証券税制の軽減税率を延長するもの。

議題83号玉名市一般会計補正予算では、歳入歳出それぞれ7億7千607万7千円を追加し総額を285億6千486万1千円とした。歳入は県支出金の農山漁村活性化プロジェクト支援交付金でJ A大浜に支出されるもの。今回は大変厳しい予算になっているが県へ農家の現状をアピールして予算獲得へ措置をしてほしいがとの質疑。国・県へも要望をしていくが東日本の災害復興・復旧の財源確保があり今後かなり厳しいとの答弁。地方債補正では有明中学校の体育館整備事業費で体育館と武道館とでは使えるスポーツの幅が違うが双方が効率よく使える方がいい

以上の質疑に柔道・剣道が必須科目になるという答弁。議第89号は、スポーツ振興法の全部改正に伴い、新たにスポーツ基本法が制定されたことで特別職の職員で非常勤のものの職名を従来の体育指導委員からスポーツ推進委員に改めるものです。

以上議案8件は、全員一致で承認及び可決すべきと決した。陳情では「郵政改革法案早期成立を求める意見書の提出に関する陳情」では利用者として不便な面が出たので、少しずつ手直ししてサービスを向上させてほしい。また継続審査の請願「建設に働く仲間と地域経済を救うルール作りに関する請願」は建設業自体の改革は支持していかねればならない。デフレ傾向で賃金も低い。生活も苦しいような状況ではないけないなどの意見があり陳情・請願ともに原案のとおり全員一致で採択と決した。

水道料金徴収事務外部委託、検針員の体制指導と停水措置の状況判断を要望

建設委員会
委員長：高木重之

付託された案件は補正予算5件（一般会計、農業集落排水、簡易水道、水道下水道）、市道路線の認定1件。

一般会計では蛇ヶ谷公園サクラ再生業務委託などで956万1千円の追加。また6、7月の大雨による公共土木施設災害復旧費に3千844万9千円の追加。委員から桜の品種研究を行ない、病気に強い桜の植栽を要望。また災害時の排水機場の停電に備え、地元土木業者と連携を取り、災害時対応と連絡網整備の徹底を要望。

水道事業会計では、外部委託している水道料金徴収業務委託の期間及び限度額を新たに定める。委員から、検針業務を含めた料金徴収事務の外部委託について、直営時に比べ外部委託移行後の検針員の待遇に懸念の声。外部委託は21年度から実施。今回は前回の見積書等を勘案し人件費含め水道課で積算。業社選定は公募

式プロポーザルを予定と答弁。また委員から委託業者に対し、検針員の体制指導と、停水措置の状況判断の見極めを協議するよう要望。

下水道事業会計は、国庫補助金の減額。委員から国庫補助金が減額されるなら予定工事に支障を来すが、東日本大震災を機に状況が変化したのかと質疑。来年度以降は減額幅拡大の可能性もあり、今後の検討材料との答弁。

市道路線の認定は新玉名駅北西の下深田田楽線1路線。市道認定は市民が便利になる反面、市に管理義務発生。少ない職員での全市道パトロールは不可能。市の見解を質疑。市職員に対し道路破損を発見した際は直ちに土木課への連絡を周知との答弁。また、職員数削減といった状況に鑑み将来的には市道維持管理の外部委託の考察も必要と答弁。いずれの議案も全員一致で可決すべきと決した。

農林水産事業費9,863万6千円の補正

産業経済委員会
委員長：江田計司

付託された案件は議案2件。専決処分事項の承認について、主なものは玉名市異常寒波に係る施設園芸農家の経営維持を図るための利子補助等、J A玉名で7千800万円30件、J A大浜2千300万円の9件、県の資金は2千700万円の11件申請されている。次に23年度一般会計補正予算について、歳出の主なものは農家経営の安定を図ることを目的に補助を行う農業振興費、農山漁村活性化プロジェクト交付金補助等。また委員より農業機械等整備事業補助金の市単独補助金に質問があり、総事業費1億8千900万円を全額の補助率25%で払うと、約3千万円不足するが約13%補助率で1千万円の補正を組んでいるとの事。委員から農家も大変助かっている。来年度以降もぜひ継続するよう要望があり執行部からも内容を係で再度検討し、予算要求を行なうとの答弁。

税金・土地改良区の賦課金等の滞納者等には、補助金は出さないようにとの要望があった。採決の結果付託された議案2件については、全員一致で承認及び可決すべきと決した。その他として、6月の委員会でも愛知通商との企業誘致の報告があったが操業開始日と採用人数に変更があったこと。地デジ化のその後、6次産業の今の現状、玉名納涼花火大会の補助金や協賛金、花火の数、観客数等についての質疑の後、防火林道、渇水対策の現地を視察した。



▲防火林道現地視察の様子

一般質問

ここが聞きたい



ここに記載した質問と答弁は要約したものです。
前回までの会議録は市民図書館及び玉名市ホームページ市議会サイトでご覧できます。

北本 節代 (市民クラブ)	松田 憲明 (自友クラブ)	近松 恵美子 (蒼風会)	中尾 嘉男 (有明クラブ)	青木 ひさし (無会派・公明)	福岡 譲治 (蒼風会)	吉田 きとく (自友クラブ)	前田 正治 (無会派・共産)	永野 忠弘 (無会派)	田畑 ひさよし (有明クラブ)	蔵原 隆浩 (新生クラブ)	江田 計司 (蒼風会)	内田 靖信 (自友クラブ)	宮田 知美 (新玉名クラブ)
------------------	------------------	-----------------	------------------	--------------------	----------------	-------------------	-------------------	----------------	--------------------	------------------	----------------	------------------	-------------------

質問に立った議員名(会派名)は次のとおりです。
(質問順に記載)

新庁舎建設特別委員会 委員長:吉田きとく

頑丈で地震などに強い新庁舎を

8月30日、委員会を開催。実施設計の進捗状況の報告を執行部から受け、活発な意見、質疑が行なわれた。基本設計の理念、基本的方針である①充実した市民サービス「開かれた庁舎」づくり②質実で高機能な庁舎づくり③安全・安心、自然災害に対応するユニバーサルデザインの庁舎づくり④「先進的エコ庁舎」づくり―以上4項目は踏襲するが、⑤緑のインフラづくりについては、調整池を地下埋設型からオープン方式に変更するため考え直さざるを得ないとの方針で取り組んでいるとのこと。以上、執行部の方針等について、委員からは、頑丈で地震等に強い、メンテナンスに費用がかからないよう、また、庁舎内の配置、防災本部の拠点として機能する建物にしてほしいなど、意見が交わされた。

今後も、進捗状況等をチェックしていく必要もあり、全員一致で継続審査とした。

広域議会より

公立玉名中央病院企業団議会 議長:中尾 嘉男

公立玉名中央病院の今…

公立玉名中央病院を運営する「玉名市玉東町病院組合」は、今年度より地方公営企業法の全部適用を導入「公立玉名中央病院企業団」と団体名、経営形態を変え、中野哲雄院長が運営のかじ取り役として企業長に就任されております。

▼全国的な医師不足の中、公立玉名中央病院は昨年度6名の増員をし麻酔科の再開、消化器内科の新設と充実が図られております。診療体制が整うことにより懸案事項でありました経営状況も改善されつつあり、医療の質の向上と経営の健全化に向けて今後に明るい兆しが見えてまいりました。

▼10月より敷地内に病児病後児保育施設「ひだまりキッズ」がオープンします。お子様が急に体調を崩し仕事の都合上家庭看護不能の場合ご利用されては、いかがでしょうか。

有明広域行政事務組合議会 議長:福岡 譲治

消防のさらなる広域化協議始まる!!

有明広域行政事務組合では消防、衛生、清掃、斎場、介護及び障がい者自立支援の認定と婚活事業という住民生活に密着した業務を行なっています。

今、阿蘇広域、山鹿広域、有明広域の三広域消防の合併広域化の協議が始まりました。菊池広域の離脱により飛地での協議となりました。30項目に及ぶ協議事項を一つずつ詰めています。有明広域議会では、飛び地での合併が一番のネックとなり反対意見が多数を占めており、十分な検討が必要です。有明広域でも本部庁舎、分署の統廃合が進められており荒尾署の移設、長洲分署の移設、本部庁舎の移設案が進められています。本部庁舎については分科会で現玉名署地に決定しましたが、玉名市より現玉名市庁舎跡地にとの要望が出されており、検討を要するところ です。

ニーズに合った 多重債務者へ取り組み急げ



北本 節代

議員 消費生活センターが開所。成果について問う。来所だけでなく訪問やメールでも受け付けることや時間外・休日の枠を超えた対応を。また各課のネットワークの構築を目指す考えは。

市民生活部長 相談件数は6月〜8月末で54件。前年度より23%増した。現在相談は来所、電話、文書で受付けている。訪問やメールでの相談は検討していく。各課のネットワークは、構築中であり必要に応じてケース会議を実施している。今後委員会については設置予定である。

小中学校の図書の充実・ 補助員の待遇改善を!!

議員 小中学校の本は標準冊数になったのか、一校一名の

補助員の設置が望ましいが、バーコード管理で地域の人への貸し出しは。

教育長 学校図書の充足率は、小学校86%、中学校106%で、今後も計画的に新刊書を配置し、図書の充実を図っていく。図書室補助員の配置は、現行の18名態勢を考えている。学校図書室の利用は、基本的に児童生徒対象だが、要望があったら、地域の人の図書室内での利用を、学校とともに検討する。

ドル平泳法を 学校で水泳の指導に

議員 ドル平泳法は長く泳ぐことと早期に息継ぎを覚えるなどのメリットがあり学校での授業に取り入れる考えは。

教育長 授業では、学習指導要領に示された内容を扱っている。例えば、小学3・4年は、「浮き方やけ伸び」。ドル平泳法は、内容にないため授業では扱えない現状である。※その他、子ども議会の継続した取り組みを質問した。

災害への備えは 市と市民の協力で



松田 憲明

議員 四面を海に囲まれている日本、恵みを与える穏やかな海、荒れ狂う海、東日本大震災が教えてくれた。危険地域の避難場所、経路、海抜標示等、行政の責任を果たし安心安全の玉名の創造を求む。

総務部長 今後の津波対策は国や県で進められている調査の結果、対策方針・被害想定見直し等を踏まえて、玉名市地域防災計画において、津波想定及び海抜表示板の設置を含めた対策・見直しを行なっていく。

また、今回の震災で住民の避難を軸とした対策の確立の重要性が再認識された。このためには一人一人が、日ごろから危機意識を持つことが重要となる。今後も広報誌などを通じて、市民の意識向上、防災知識の普及啓発を図る。

一日も早い 新庁舎建設を

議員 新生玉名は、核となる庁舎建設から始まる。未来に禍根を残さぬ庁舎をつくる。職員の削減は、スリム化と効率化で補える。市民サービスは、巡回バスで充実を。一日も早い庁舎建設が急務だ。

市長 新庁舎は、合併特例債の適用期限である平成27年度までの完成は当然であり、少しでも早くとの思いは、私自身も同じ。現在、基本設計の見直しを進めており、今後、むだのないスケジュールにより、完成までを急ぎたい。

また、安全性が高く、障がい者や高齢者に優しいことはもとより、決して華美なものとはならず、質実で高機能な庁舎を目指し、総事業費についても目標とする削減額を達成できるよう進めていく。

※その他、議会の二元代表制、市長と語ろう座談会の成果等についても質問した。

急げ 未利用
普通財産の処分



近松恵美子

議員 多くの遊休地、未利用施設が放置されている。管理費のかかる遊休地を早めに処分しないのか。

企画経営部長 個別財産の中から、早めに処分できる財産を選定し活用方針等を定め、売却処分等の手続に入りたいと考えている。

議員 遊休地のパトロールはしているのか。除草の現状は。 **企画経営部長** 遊休地のパトロールは、例年状況が変わらないため、行なっていない。また、除草についてはシルバー人材センターや職員で対応している。

議員 旧母子センターは、老朽化と土地の荒廃が進んでいる。売却処分を考えてはどうか。 **企画経営部長** 今後の計画などと照らし合わせ、利用計画

がない場合は、未利用市有財産活用基本方針に基づいて、建物及び土地の処分やその方法について検討を考えている。

勤労青少年ホームを
若者が集う場に

議員 現在、開館日は土日を除く、となっているが、利用状況、また男女比は。

産業経済部長 22年度で8千783人の勤労青少年の方が利用。会員登録者の男女比は1対3での割合で男性が少ない。スポーツから陶芸や料理教室など多岐にわたり、男女の区別なく広く募集を行なっている。

議員 玉名には若者が遊ぶところがないという声がある。若者が体を鍛え、仲間づくりができるように、土日開設を考えないか。

産業経済部長 今のところ、会員から土日の開催を希望する声は聞かれない。柔軟に対応していくことも必要と考えるので、利用者の声を聞き指定管理者とも検討したい。



▲玉名市勤労青少年ホーム

土地改良区への
事務委託を検討せよ!!



中尾 嘉男

議員 平成19年度から実施してきた農地・水環境保全向上対策事業への参加団体数、活動面積、事業費を伺う。また、23年度から始まった農地・水管理支払交付金事業は、参加団体から内容が複雑で素人で

は事務処理ができないとの声が上がっている。参加団体の事務費を負担して玉名市土地改良区に事務委託を願いたい。前向きな検討を。

産業経済部長 現在事業に組んでいる団体は、市全体で38団体で、活動面積は219ha、事業費9千418万3千円。また、23年度より、農地・水保全管理支払交付金事業が新設され、全体で15団体の申請があつて

議員 合併による職員給料の格差について。旧玉名市に比べ、旧3町の職員給料に格差が出ている。合併に際し、均衡を図り給料格差をなくすことになつており、合併協議会の総務分科会の中で調整確認があつているが、この調整の内容・時期・方法を伺う。また、特別昇給は現在どうなっているか。

総務部長 職員給料の格差は



▲区民による協同作業の状況

正だが、職員の経験年数や年齢により、新市のルールを基に算出された給料月額が職員各々に定められている。その給料月額が、実際に支給されている給料月額を上回る場合、一定額以上の差額がある職員が格差是正の対象者となり、普通昇給に昇給を上乗せし、合併後10年間で調整している。また、国の給与構造改革に準じ、平成18年4月から普通昇給と特別昇給を一本化した昇給制度となつたので、現在は特別昇給の制度はない。

一般質問

長期入院者のもとへ
移動図書館の巡回を!



青木ひさし

議員 移動図書館「たまきな号」は小中学校や保育園へ巡回し活躍中。そこで、病院などの入院される方へ病院への巡回を!

教育長 玉名中央病院の入院者への貸し出しは、蔵書冊数や職員体制の人数の問題から早急に実施することは難しいので、1カ月間、100冊利用できる団体貸し出しや除籍図書の譲与等を通して図書館を利用できるように努力する。

障がい者への図書
郵送サービスを!

議員 市立図書館での図書を貸し出し・返却のサービスを!

教育長 障がい者用資料として、点字資料、声の広報、朗読力セット、CDのサービスを!

スを行なっている。宅配サービスの実施は予算や職員体制等の課題があり、障がいの対象となる基準や状況を考え検討する。

空き家対策に空き家
再生等推進事業を!

議員 空き家への対策は?

企画経営部長 空き家を地域コミュニティ施設へ改修することも可能であり、今後空き家再生等推進事業に適合する事業が生じた際、積極的に活用したいと考えている。

使用済みインク
カートリッジの回収を!

議員 メーカーへの回収率は極めて低く有価物のカートリッジを回収しては!

市民生活部長 自治体においては、全国800カ所以上で回収されており、玉名市内では、ベスト電器と3郵便局で回収されている。

玉名市としては、(株)玉名リサイクルプラザと協議し、回収を行なう方向で検討する。

農地・環境保全
向上対策について



福嶋 謙治

議員 玉名での取り組みの成果について、また継続はあるのか、継続の場合の面積の變更は可能か。

産業経済部長 各地域の農村環境の整備、用排水路、農道等の補修など施設の保全管理



▲大浜小学校へ巡回した移動図書館

を行なっており、農家、各種団体、子ども会など地域全体が一緒になり、地域の連携や意識の高揚が図られたことが一番の成果だと思ふ。

議員 継続については、現時点では判断しづらい状況であり継続の場合は、新たに申請し取り組む必要がある。新規の参入面積の變更等も可能である。

市民会館
建設に疑問!!

議員 市民会館の老朽化は理解できるが、その改築については新市建設計画にも市長のマニフェストにも明確にされていない。1市3町の合併が旧玉名市の積み残し事業や財政不足で不可能部分を補助するものであつてはならない。

市長 マニフェストである「チェンジ玉名」、「芸術文化都市の構築」の中で、全面改修か建てかえか結論を得て整備を推進すると掲げている。

また、平成19年度に策定した総合計画では、主要施策「音楽の都 玉名づくり」の中で「文化ホールの整備の検

討」を位置づけている。市民会館は、建築後44年が経過しているため、全面改修か建てかえかの判断が急がれるところであり、仮に建てかえとなつた場合は、その事業費がそれなりの金額となること予想されるため、平成27年度が適用期限の合併特例債を活用しないと、市の財政に大きな影響を及ぼすことが見込まれる。今後は、市民会館を整備することによって、他の計画に影響が出ないよう進めべきと思つている。



児童・生徒に対し
防災教育の充実を！



吉田きとく

議員 安全で安心して暮らせる社会。防災教育と学校の備蓄施設について、(ウ)みずから考える力を重視する教育について、(イ)避難場所としての機能について、(ウ)郷土史から学ぶことについて。

教育長 (ウ)今後さらなる学校の安全管理と児童生徒の安全確保を図りながら、すべての教育活動を通して防災教育の充実を図りみずから考える力の育成に取り組んでいく。

総務部長 (イ)小中学校体育館については、改築が予定されている玉南中学校を除き、すべての体育館で耐震化済み。他の避難所も今後耐震化等により安全性確保に努める。学校での備蓄については、教育委員会と協議し検討していく。

教育長 (ウ)今後も、過去の自然災害に対する児童生徒への

語り伝えを大切にしていけるとともに、防災教育を初め、郷土の歴史から学ぶ教育の充実に取り組んでいく。

議員 防災の日について。

総務部長 玉名市では、「広報たまな」や防災無線により、津波や災害に対する心構え等についての啓発を行なった。天水地区では、早朝から消防団、区長会、地域住民参加による防災訓練が実施された。また、2日には、外部から講師を招いて、職員を対象にした災害対策本部運営演習を実施した。

防災訓練については、11月を目標に準備中であるが、初めての訓練であるため、できることから実施したい。

議員 旧玉名市の防災無線の見直しについて。

総務部長 旧玉名市の防災行政無線は、市内全域をカバーするよう平成14年度までに89基の子局を設置されている。近年の住宅開発等に伴う難聴地区に対しては、スピーカー調整等によりその解消に努めている。



▲上立願寺地区に設置されている防災無線

介護保険料の
引き下げを



前田 正治

議員 24年度からの第5期介護保険事業に当たり、介護保険料は引き下げを。

健康福祉部長 今後、加齢に伴う介護給付費の自然増や新たに介護施設を開設することに伴う介護給付費の増加など

が見込まれる中で、介護給付費準備基金等の取り崩しや県への償還金の終了など、保険料の値上げが最小限度にとどまるよう努力していく。

議員 第5期計画における日常生活支援総合事業では、要支援サービスの削減が起きないことを求める。

健康福祉部長 介護予防・日常生活支援総合事業は、本年6月15日に可決成立し6月22日に公布したもので、市町村の判断により、地域支援事業において多様なマンパワーや社会資源の活動等を図りながら、要支援者・2次予防事業対象者に対し、生活支援サービス等を総合的に提供することができ的事业である。

現在、第5期の介護事業計画の中で、利用者にとって適切なサービス提供ができるよう検討している。

非正規職員にも
通勤手当を

議員 非正規の職員の通勤手当や、賃金引き上げなど労働条件の改善が必要と思うが。



総務部長 臨時及び非常勤職員など非正規職員に関しては、通勤手当の支給はしておらず、また賃金も据え置いているのが現状である。

非正規職員の労働条件に関しては、常勤職員に準じるものではないが、通勤手当の支給など労働条件を改善する必要性は十分に承知している。今後、県内各市の動向を踏まえ、また財政状況も勘案しながら、改善すべき事項は関係部署と協議するなど、改善に向けて検討していきたい。

一般質問

教育行政改革等の
必要性はないか！



永野 忠弘

議員 玉名市では、23年5月現在小中学校生徒数は3千730名。今後100名ずつ毎年減少し、完全複式学級学校も2校ある。学校規模模範学校の適性規模の必要性から学校規模適正化審議会の発足が必要であると考えて。審議会現況を伺いたい。玉名市教育委員会の小中一貫教育、改革などの見解と国県の指針動向を伺う。

教育長 学識者や6中学校区の代表等17名の委員に御指摘の現状について審議をいただき、本市の「学校規模・配置の適正化を推進するに当たっての基準・考え方及び適正化の方向性」を建議いただく予定。次に小中一貫教育については、国県の正式な制度はなく、義務教育制度の弾力化として、特例の制度により実施を認めているのが現状。審議

会の中でも意見があり、玉名市の教育改革の一つの重要な選択肢として検討する。

議員 「音楽の都」玉名づくりその後について。

教育長 市民音楽組織の方向性については、現在結論までには至っていない。今年度は10月から小学校でのアウトリーチ事業を実施する。

議員 新幹線新玉名駅前駐車場に対する今後の対策について。

建設部長

駐車場利用のマネー向上をPRし長期駐車の確認や指導をするとともに、今後混雑が長期化するようであれば規模の再検討も視野に入れ考えたい。

議員 新玉名駅実現に対する元市長松本虎之助氏への顕彰碑建立要望への市長の見解は。

市長 16年にわたり旧玉名市長として新玉名駅誘致のほか、九看大の建設等、市の発展に多大な功績を残されているが、現在のところ氏の顕彰碑の建立は予定していない。



▲学校規模適正化審議会の様子

左岸地区の
下水処理について



田畑ひさよし

議員 菊池川左岸地区は昭和の合併により全てが発展に歯止めが掛かり小田郷の中心の繁栄をとげていた伊倉の町並みも今や見る影もない。議員として各種の活性化対策を実行しても、大型店、コンビニの

災害後の
対応について

議員 6月の大雨で八嘉田崎地区が冠水、最近の気象は集中的豪雨が多い中、特に地区

住民の、不安に対して説明会を開くように強く要望したが、3カ月間も実施されないのはなぜか。即実行を。

建設部長 要望いただいた後7月21日に国土交通省と玉名市で大規模な災害時における防災協定を結び相互連携が可能となった。また8月8日に田崎地区からも地元説明の要望があり今後地元の皆様と田崎排水機場の運営について説明していきたい。

※その他、桃田運動施設のあり方について質問をした。



▲平常時の赤川 田崎排水機場

行財政運営のさらなる効率化へ！



蔵原 隆浩

議員 公共施設適正配置計画は、どのような役割を担い（目的をもって）策定されるのか。また既存の公共施設や今後計画される施設にどのような効力や影響を及ぼすものなのか。

企画経営部長 市内に混在する類似施設の維持管理は、厳しい財政状況の中ますます困難となるため、より効率的な施設運営を図る目的で策定する。

また、本計画は今後の施設配置についての基幹資料とする。

議員 市民会館ホールの建てかえ計画は今後どう進めていくのか。そのスケジュールと説明責任の果たし方を問う。

市長 合併特例債は平成27年度までであり、検討委員会から建議された整備基本計画書（案）の内容を十分検討し、改

修か建てかえか、建てかえとすればその場所と規模などについて、早いうちに示したい。

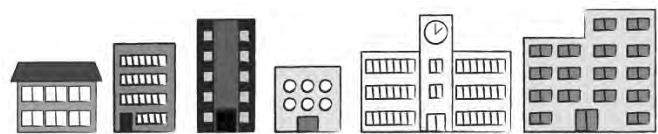
議員 未利用市有財産の活用問題について、定められた活用基本方針の内容と今年度の具体的な取組を伺いたい。

企画経営部長 利活用されず維持費が必要な財産は、市の財源確保や経費節減を図るため、要綱の制定を行ない年度末には売却処分等の手続ができるよう考えている。

「組織機構改革」職員の適正配置に疑問！

議員 職員的大幅削減が、住民サービスに与える影響を、どのような分析・検証によって、組織体系の見直しや職員の適正配置につなげられているのか。

企画経営部長 全課長を対象にヒアリングを実施し所管課の事業や職員の状況等を把握すると同時に、全部署の業務の可視化を行ない分析を続ける。それらの検証結果をもとに組織機構の見直し時の職員の適正配置につなげていく。



大野下地区の基盤整備の進捗状況は



江田 計司

議員 今年のような梅雨時期でも何回も田植した後に稲が冠水し、大変御苦労をされている。これからこの異常気象にて大野下駅前地区も冠水する。そのための大野下地区の基盤整備の進捗状況は。

産業経済部長 本地区は、国の補助を受け、県が事業主体で行なう農業の経営基盤である農地の整備を行ない、将来の安定した農業経営の確保、幹線排水路の未整備に起因する湛水被害の解消を目的に平成24年度新規採択を目指し進めている。採択要件に見合う実現可能で具体的な作物（施設園芸など）が必要。また、同意率100%を目指し、県全体で重要な地区として位置づける必要がある。

議員 機構改革で各支所の市民サービス低下がないか。合併して早6年を経過しようとする中、各支所、また専門職の部署等のサービス低下が聞かれるがどう考えているのか。

企画経営部長 関係部署と協議を重ね、様々な検討を行ない、支所移行の時期や問題点等について議論を進めていく。

また、地域の意見聴取のため地域協議会へ諮問を行なう。

議員 市民会館建設と全体のまちづくりは。現庁舎の跡地、マルシヨクの跡地、凸版跡地、新玉名駅前3.2ha等の周辺整備



▲扇崎大野下地区冠水箇所

をどう考えているのか。

市長 市が目指す都市像に向けて計画的に取り組む中において、市有地等を活用したまちづくりとしては、現庁舎跡地が有明消防本部庁舎の移転候補地として検討されており、マルシヨク跡地は中心市街地の再生に向けた活性化策を引き続き検討していく。また新玉名駅前周辺整備は民間開発を誘導し、その状況に応じた支援を講じる。最後に凸版跡地は現時点では市による整備計画はない。

一般質問

均衡ある玉名市の発展について



内田 靖信

議員 市民会館の建てかえの適否について、数10億円に及ぶ市民会館建設事業の検討委員会の選任について、旧3町からの選任はなく旧玉名市に偏った人選となっているが、1市3町の合併協議会において策定された新市建設計画に当時の玉名市の財政事情により見送らざるを得なかった数10億円にも上る市民会館建設事業を新たに追加することは合併理念に反し、後世に多くの負債を残すことになるが、市民会館建設は拙速な事業展開で市民への説明責任も果たしていない。市民フォーラムの開催は。

域協議会での意見交換も行ない意見書も提出されている。

市長 市民会館の財源は、市民への負担を軽減し、後生に負担を残さないためにも、平成27年度の期限である合併特例債の活用を考えている。

また、文化ホール整備は、平成19年度の総合計画に示されている。市民フォーラムは意見聴取等で十分な検討がなされており、特例債の期限もあるため、開催の予定はない。

議員 みかんと草枕の里・春まつりへの財政措置の廃止について、旧天水町のころから農家の向上心を養い、農業の持続的発展と推進を目的とし春まつりを長年開催してきたが、22年度より市補助金55万円が廃止された。現在、JA玉名の支援にて規模を縮小して実施されているが事業継続が困難になりつつあり、再検討の必要があるが。



フリーターにならない教育を!!



宮田 知美

実社会を経験させる
学習の取り組み

議員 フリーターの生活実態は正社員並みに1日7時間、週5日働いても年収200万円以下が多く、「将来に希望が持てない、結婚なんて無理」な

ど悲観的。

今このようなフリーターやニートの若者が多い。

人の人生の大半が中学2年生で決まる時期に実社会を模した経験をさせる教育が必要と切に思う。子ども達は社会にどんな職業があるのか知らない。

社会に出てこんな職業に就きたかった。こんな職業に就くために勉強やスポーツを頑張り資格を取ればよかったと後悔させてはいけない。

「13歳のハローワーク」（中学2年生に500以上の職業を作家村上龍が紹介している本）と「ファイナンスパーク学習」（学校での学びを社会での知恵として生かす具体的な体験を学習）の取り組みを提案する。

教育長 子ども達に主体的に自己の進路を選択・決定できる能力やしつかりとした勤労観、職業観を身につけることがフリーターやニートをつくらないことにつながるといえる。考えの下、玉名市の小中学校では、文部科学省の指針に

沿って発達段階に応じて体系的にキャリア教育・職業教育を推進している。

具体的には、基礎的・汎用的能力として、「人間関係形成・社会形成能力」や「キャリアプランニング能力」等の育成を目指して、各小中学校ではキャリア教育全体計画・年間指導計画を作成し、計画に則り、生活科や社会科、総合的な学習の時間等のさまざまな教育活動において発達段階に応じた体験学習を実施している。



▲玉名市立玉名中学校校舎

議会基本条例先駆的取組み栗山町に学ぶ

総務

昨年度より玉名市議会では、議会基本条例についての自主勉強会に取り組んでいる。今回委員会視察は、「議会改革で日本で最初に条例を制定した栗山町及び財政破綻後、再生を目指す隣の夕張市の財政再建計画を視察先とした。

今回は事前学習会も開催し資料なども熟読しての参加でした。栗山町、夕張市は視察も大変多く初めて2市合同また、4市合同での研修でした。学んだことは大変多く、栗山町では特に議会基本条例制定では積極的に専門の大学の先生方を巻き込み、市民

と共に進めていくことの意義を学び、議員間の討議では全協や委員間で議論の場を作っていくことや市民への議会報告会を開催したこと並びに市民のモニター制を公募により実施している旨のことを学びました。議会改革のきっかけでは「前議長のリーダーシップがあった」とことと近隣の「夕張市の破綻」による危機感を話され、その後夕張市の視察に向かったことも有意義でした。夕張市でも財政再建や議会での関わり方、資料を交えての説明があり、多くのことを考えさせられた研修でした。

学校規模等適正化先進地に学ぶ

今回は8月8日から3日間の日程で実施した。1日目、大阪府枚方市「学校規模等適正化プラン」。小学校単位で中学校通学区を構成する「一小一中」の取組みを中心に、小規模廃校跡地を民間に払い下げ新たな活用を模索。適正化実施にあたっては時間をかけて学校・保護者・地域住民への情報提供と説明責任を十分に果たすこと。2日目、奈良県生駒市①「医療費適正化」。後発医薬品の活用推進。②「環境施策」。

雨水タンクを小学校に設置、バイオディーゼル車の試行など。3日目、京都府宇治市「小中一貫教育と学校規模等適正化」。宇治市では児童数の増加に伴い、小学校から中学校までの9年間を一貫して教育できる体制を実施される。ここでも地域住民・保護者等へのきめ細かい説明を長期にわたり実施。その膨大なデータに基づき、施策展開されていた。

文教厚生

農商工と観光振興を学ぶ

7月26日（28日）にかけて主に帯広市を中心に視察。十勝平野の中央部人口17万人面積618㎢、基幹産業は畑作酪農が中心の帯広市を研修、商工観光では市民協働として帯広市の中小企業振興を図るなど産業振興ビジョンの取り組みが行なわれていた。周辺の農業圃場では、酪農が伸び悩むなか小麦の生産に力を入れ、顧客のニーズに応え、2年前に品種改良し麵用としてキタホナミ、ユメチカラを生産し関東、関西、讃岐へと十

勝港から積出されている。玉名市も小麦の生産は盛んであるが近年品質の低下が懸念されるなか品種改良が望まれる時に今回の研修は有意義であった。また、商店街活性化を図るためのまちづくりには積極的で代表的な「北の屋台」は地元の食材を十分に活かした取り組みで、地元の人達や観光客等で賑わっていた。

産経経済

頑丈で緊急時に備えた視察地の庁舎

私達は7月20日から3日間、京都府精華町、大阪市平野区各庁舎を視察研修した。

精華町は豪華吹きぬけなどの構造。平野区役所は、本市が実施設計を委託している設計事務所によるもので頑丈な支柱を設け、災害に備え飲料水等を備蓄。発電、屋上のエコ化等、実に巧妙に建築されていた。また建築後のメンテナンスに費用ができる限りかからない構造、工法等であることを強く感じた。



▲ワンフロアーで広い窓口空間の精華町役場ロビー

新庁舎建設特別

2年間御愛読ありがとうございました。

議会報編集特別委員会

委員長 宮田 知美
適切な予算の執行・議員審議がなされたのか各議員活動状況を鮮明に市民に知らせる事ができたのではないかと思います。

副委員長 近松恵美子
市民の皆様は、何をどのような形でお伝えすべきか、悩むことの多い日々でした。御愛読ありがとうございました。

「市民の声」に寄稿いただいた皆様と、表紙の美しい題字を書いていただいた小中学生の皆さんの御協力に、心から感謝を申し上げます。

福田 友明
限られた紙面で議会の動きを報告する難しさを新たに感じた2年間でした。今後も市民に親しまれる議会報となりますように。

江田 計司
議会ごとの委員会は大変勉強になり毎日が楽しくあつという間の2年間でした。これからもこの経験を生かして頑張ります。



北本 節代

市民に読まれる議会だよりを目指して、字の大きさ、見出しの入れ方など2年間工夫し発行しました。さらに邁進します。

中尾 嘉男

2年間委員として編集にかかわり勉強になりました。市民の皆様の声を紙面で取り上げ、題字での子供たちの参加も良かったです。

田畑ひさよし

市民に見やすく、読みやすく、判りやすい議会報の編集に努めてまいりましたが、反省点も多々あります。市民の御意見をお願いします。

御意見箱より

市議会では、議会を傍聴された方々から、市議会や市政に関する要望等をお聞きするために、御意見箱を設置しています。次の方から御意見をお寄せいただきました。

玉名市中 村田信一さん
傍聴席の椅子のことですが、「すべてパイプ椅子」というのは、いかがなものかと思えます。

4〜5脚で結構ですので、お年寄りのための優先席を設けてください。その優先席の椅子のスペースは座り心地の快適なものと考えていただきたいと思えます。（高齢の身にとつて、パイプ椅子に長時間座っていることはかなりの忍耐を要することに思いをはせていただきました。）

御意見ありがとうございました。さつそく、「優先席」を5席設置しました。皆様、御利用ください。

傍聴をしませんか！

市議会はだれでも傍聴できます。庁舎西側（正面玄関前駐車場の手前）から直接傍聴席（3階）に入ることが出来ますので、お気軽においでください。傍聴席は60名分設けてあります。また、各総合支所1階ロビーにもインターネットの中継テレビを設置しています。

市議会定例会で本会議を傍聴できるのは、開会（提案理由の説明）、一般質問、閉会（採決）です。なお、日程につきましては12月定例会予定（下記）をご覧ください。

議会事務局

TEL(75)1155

玉名市ホームページ市議会サイトでも閲覧できます。



玉名市のホームページ
http://www.city.tamana.lg.jp

12月定例会予定

22日	19日	16日	15日	14日	13日	8日	12月1日	30日	11月21日
木曜	月曜	金曜	木曜	水曜	火曜	木曜	木曜	水曜	月曜
採決 定例議会閉会	文教厚生委員会 建設委員会	総務委員会 産業経済委員会	一般質問 議案の委員会付託	一般質問	一般質問	一般質問 発言通告締切	常任委員会 議会運営委員会改選選任	定例議会開会 提案理由の説明	議会運営委員会

※都合により変更になることがあります。